



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國部 洋

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 井上 敬一 (TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,938	5.9	1,720	63.3	2,957	70.5	1,917	39.3
2022年3月期第1四半期	7,495	72.5	1,053	461.9	1,734	—	1,376	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,539百万円(△4.2%) 2022年3月期第1四半期 1,607百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	78.94	—
2022年3月期第1四半期	56.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	61,265	33,112	53.0
2022年3月期	58,043	31,816	53.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 32,478百万円 2022年3月期 31,195百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	10.00	23.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,700	13.1	2,700	28.9	2,700	△7.7	1,900	△13.9	78.23
通期	34,500	17.5	4,800	27.4	4,800	△20.0	3,900	110.9	160.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	24,400,000株	2022年3月期	24,400,000株
2023年3月期1Q	108,889株	2022年3月期	108,889株
2023年3月期1Q	24,291,111株	2022年3月期1Q	24,279,123株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	2022年3月期 第1四半期 実績 (百万円)	2023年3月期 第1四半期 実績 (百万円)	前年同期比 (%)	進捗率 (%) ※1
売上高	7,495	7,938	5.9	23.0
触媒	4,476	4,772	6.6	22.3
電子材料・酸素センサー	795	801	0.8	24.1
ファインセラミックス	902	912	1.1	24.4
耐火物・ブレーキ	785	939	19.6	24.0
その他	534	512	△4.3	23.7
営業利益	1,053	1,720	63.3	35.9
経常利益	1,734	2,957	70.5	61.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,376	1,917	39.3	49.2

※1. 進捗率は、2022年5月13日公表の連結業績予想と比較しております。

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症がもたらした経済ならびに社会の混乱が十分に解消しない中、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う経済制裁および物流ルートの制限、中国の「ゼロコロナ」政策下における活動制約などがサプライチェーンの混乱に拍車をかけました。さらに40年ぶりともいわれる水準で世界的にインフレが進行しました。

当社グループの主要顧客である自動車産業におきましても、長引くサプライチェーンの混乱を受けて自動車メーカー各社では計画比で減産を余儀なくされ、2022年上半期の世界ライトビークルの販売台数は、コロナ禍からの需要回復が旺盛であった前年同期に比べ8.5%減少しました。一方で、先進諸国における脱炭素化ならびにデジタル化への意識は依然高く、電動車へのシフトも加速しています。

当社グループにおきましては、自動車排ガス浄化触媒、酸素センサーなどの車載用途で自動車減産の影響を受けたものの、電子材料、光学材料、歯科材料、産業用構造部材などは堅調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期比で11.5%減少したものの、原材料価格の高騰に伴う販売価格上昇や円安による為替影響等により7,938百万円（前年同期比5.9%増、業績予想34,500百万円に対して進捗率23.0%）、営業利益は、在庫販売効果、為替影響等により1,720百万円（前年同期比63.3%増、業績予想4,800百万円に対して進捗率35.9%）、経常利益は、外貨建資産における為替差益の計上等により2,957百万円（前年同期比70.5%増、業績予想4,800百万円に対して進捗率61.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,917百万円（前年同期比39.3%増、業績予想3,900百万円に対して進捗率49.2%）となりました。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

## (触媒用途)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒材料は、部品不足による自動車減産の影響を受け、自動車販売台数の急回復に伴う需要を取り込んだ前年同期を販売数量で下回ったものの、原料価格の高騰に伴う販売価格上昇や円安による為替影響を受け、増収となりました。

その結果、触媒用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,772百万円（前年同期比6.6%増、業績予想21,370百万円に対して進捗率22.3%）となりました。

## (電子材料・酸素センサー用途)

電子材料は、圧電素子や積層セラミックコンデンサ（MLCC）などの電子部品用途の販売数量が前年同期に届かなかったものの、コロナ禍以前を上回る水準で推移しました。光学材料は、一部の用途で最終製品の在庫調整の影響を受けながらも堅調に推移しました。二次電池材料は在庫調整の影響を受けたものの、新規採用が加わり、販売数量で前年同期を上回りました。

酸素センサー材料は、自動車販売台数の急回復に伴う需要を取り込んだ前年同期を下回りました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、801百万円（前年同期比0.8%増、業績予想3,320百万円に対して進捗率24.1%）となりました。

(ファインセラミックス用途)

歯科材料ならびに産業用構造部材は、経済正常化が進む先進主要国が需要を牽引し、コロナ禍以前を上回る水準で推移しました。キッチンセラミックスは、インバウンド需要の回復には時間を要するものの、最終製品の販路拡充等により、増収が続いております。

燃料電池材料は、顧客の工場改修に伴う在庫調整の影響を受け、前年同期を下回りました。

これらの結果、ファインセラミックス用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、912百万円（前年同期比1.1%増、業績予想3,740百万円に対して進捗率24.4%）となりました。

(耐火物・ブレーキ用途)

耐火物材料は、円安の進行等により、国産品と輸入品の価格差が小さくなった結果、当社製品の需要が高まり、前年同期を大きく上回りました。

ブレーキ材は、自動車販売台数の急回復に伴う需要を取り込んだ前年同期を販売数量で下回ったものの、原料価格の高騰に伴う販売価格上昇により、増収となりました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、939百万円（前年同期比19.6%増、業績予想3,910百万円に対して進捗率24.0%）となりました。

(その他用途)

アルミ配管ろう付け用フラックスは、自動車向け、家電向けともに、中国のロックダウンに起因する在庫調整の影響を受け、前年同期を下回りました。

フラックス以外についても、一部製品で半導体不足や自動車減産による影響が見られたものの、原料価格の高騰に伴う販売価格上昇により、売上高は前年同期並みの水準で推移しました。

これらの結果、その他用途の当第1四半期連結累計期間の売上高は、512百万円（前年同期比4.3%減、業績予想2,160百万円に対して進捗率23.7%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は61,265百万円で、前連結会計年度末に比べ3,222百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加（1,298百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（1,028百万円）、仕掛品の増加(990百万円)によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は28,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,925百万円増加しました。これは主に、短期借入金の増加（900百万円）、流動負債その他の増加（802百万円）、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加（366百万円）によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は33,112百万円で、前連結会計年度末に比べ1,296百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加（1,674百万円）によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末53.7%から53.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想は、世界的なインフレの進行、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中国の「ゼロコロナ」政策によるサプライチェーンの混乱、外国為替相場の変動等による経済ならびに社会の混乱が、依然として解消されず先行きが不透明な状況であるため、2022年5月13日に公表した連結業績予想から変更していません。

特に、当第1四半期累計期間には、外国為替相場の変動に伴い、為替差益2,090百万円を計上いたしました。これは、主に当社グループで保有する外貨建資産・負債に対し発生したものです。また為替差益のうち未収入金に係る為替差益が559百万円ありますが、同額を営業外費用（貸倒引当金繰入額）に計上しております。加えて、外貨建の貸付金に係る為替変動リスクに対するヘッジを目的としたデリバティブ取引を行っており、営業外費用（デリバティブ評価損）297百万円を計上していますので、実質的な為替差益は1,233百万円となります。

この結果、当第1四半期累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期累計連結業績予想を上回って進捗していますが、営業外収益（為替差益）は、今後の為替相

場の状況により変動しうるため、通期の連結業績予想は、2022年5月13日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,840,381	8,790,305
受取手形及び売掛金	6,025,223	6,053,761
製品	5,619,407	5,788,338
仕掛品	1,986,425	2,977,015
原材料及び貯蔵品	4,209,359	5,238,077
その他	1,822,030	1,554,349
流動資産合計	28,502,826	30,401,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,784,030	5,729,274
機械装置及び運搬具(純額)	5,868,061	6,135,460
土地	2,235,721	2,235,721
建設仮勘定	10,353,215	11,456,433
その他(純額)	332,029	314,644
有形固定資産合計	24,573,058	25,871,534
無形固定資産	1,385,494	1,139,559
投資その他の資産		
その他	6,031,111	6,861,065
貸倒引当金	△2,448,937	△3,008,170
投資その他の資産合計	3,582,174	3,852,895
固定資産合計	29,540,726	30,863,990
資産合計	58,043,553	61,265,837
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	873,067	966,643
短期借入金	2,900,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	3,298,497	3,598,375
未払法人税等	1,253,479	954,732
賞与引当金	447,887	167,917
役員賞与引当金	32,804	32,804
その他	1,314,690	2,117,131
流動負債合計	10,120,426	11,637,604
固定負債		
長期借入金	15,742,776	15,809,470
退職給付に係る負債	2,550	2,783
その他	361,361	703,220
固定負債合計	16,106,687	16,515,473
負債合計	26,227,113	28,153,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,154,772	1,154,772
利益剰余金	29,102,373	30,776,935
自己株式	△40,185	△40,185
株主資本合計	31,004,060	32,678,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310,875	291,904
為替換算調整勘定	△258,272	△629,815
退職給付に係る調整累計額	138,966	137,640
その他の包括利益累計額合計	191,569	△200,270
非支配株主持分	620,809	634,407
純資産合計	31,816,439	33,112,759
負債純資産合計	58,043,553	61,265,837

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,495,381	7,938,361
売上原価	5,388,666	5,008,690
売上総利益	2,106,714	2,929,671
販売費及び一般管理費	1,052,879	1,208,683
営業利益	1,053,835	1,720,988
営業外収益		
受取利息	13,526	10,709
受取配当金	7,892	11,489
持分法による投資利益	35,273	16,567
為替差益	531,134	2,090,592
助成金収入	400	1,405
その他	106,973	13,292
営業外収益合計	695,200	2,144,056
営業外費用		
支払利息	13,814	47,056
デリバティブ評価損	—	297,958
貸倒引当金繰入額	—	559,232
その他	1,123	3,631
営業外費用合計	14,938	907,879
経常利益	1,734,097	2,957,166
特別損失		
固定資産除却損	16,167	—
特別損失合計	16,167	—
税金等調整前四半期純利益	1,717,930	2,957,166
法人税、住民税及び事業税	327,954	913,103
法人税等調整額	7,235	119,738
法人税等合計	335,189	1,032,841
四半期純利益	1,382,740	1,924,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,949	6,851
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,376,790	1,917,472

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,382,740	1,924,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,313	△18,970
為替換算調整勘定	244,842	△395,421
退職給付に係る調整額	△7,013	△1,325
持分法適用会社に対する持分相当額	△720	30,625
その他の包括利益合計	224,794	△385,093
四半期包括利益	1,607,534	1,539,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,595,612	1,525,632
非支配株主に係る四半期包括利益	11,921	13,597

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。